

緑の風 FAX版

NO. 42

2013年11月7日

JR東労組
本部情宣部

たしろ参議院議員

国土交通委員会でJR北海道の安全問題を質問！

真の原因究明の必要性を訴える！

11月7日、たしろ参議院議員は国土交通委員会において、JR北海道の安全問題について原因究明を行い、乗客にとって安全な輸送機関とするための対策をつくるという観点から質問をしました。

たしろ参議院議員は、①寒暖差の激しい自然環境を念頭におくべき②厳しい経営環境であるというJR北海道発足時のスキームの確認③JR北海道の電化率が18.7%であり、8割がディーゼルカーで普通の車両より重いというJR北海道の置かれている現実を直視することを前提として考えるべきであることを訴えました。またH23年の石勝線事故で苗穂工場社員が原因を究明し経営陣に提言を行い、対策を行っている例を紹介し、職場の声を基に対策を打ち立てることの重要性を訴えました。

感情や思い込みで対策を出しても真の原因究明にはならないという訴えに、太田大臣は答弁で「現場の声を反映できる監査の仕方を検討し、職場の実態を把握していく」と述べました。

たしろ参議院議員と共に安全で働きやすい職場をつくりだそう！